

会 議 報 告 書

会議名	令和5年度 第2回社会教育委員会議	
日 時	令和5年7月 27 日(木) 午後3時 30 分から5時 30 分まで	
場 所	三島市民生涯学習センター 3階 講義室	
出席者	社会教育 委員	永倉委員長、足立委員、後藤委員、本持委員、渡邊委員、高橋委員、 前田委員、小藪委員、靱山委員、大澤委員、朝日委員、石井委員、 飯塚委員、吉田委員
	事務局	鈴木教育推進部長、若林生涯学習課長、渡辺図書館長、辻文化財課長、 加藤文化振興課長、星谷係長、稲木係長、堤主事
傍聴人	なし(公開会議、傍聴人定員 2 名)	
項 目	趣 旨	
1 開 会		
2 挨拶	<p>●教育委員会 教育推進部長より挨拶</p> <p>●社会教育委員 委員長より挨拶</p>	
3 議 事 (報告・協議)	<p>(1) 令和5年度 第1・四半期の経過報告及び 令和5年度 第2・四半期の予定報告 各課長より資料に沿って説明</p>	
委 員	<p>(質問)</p> <p>1 点目に、6 月 3 日の「いきいきカレッジ合同開講式」に評議員として参加したが、前日の悪天候により講師が来られなくなり講演会が中止となった。年に一度の機会がなくなってしまったことは非常に残念に思う。いきいきカレッジに限ったことではないが、天候悪化により公共交通機関が止まるのが当たり前になってきている。外部から講師を招く際には、天候悪化を想定し計画するべきではないか。自宅で講演を拝聴することはハードルが高く感じるが、一堂に集まる予定がある時には、講師がスクリーン上でオンラインにて講演を行っていただくといった選択肢のある計画の立て方をすると講演自体がなくなることが減るのではないかと思う。</p> <p>2 点目に、「第 1 回図書館講座」がハイブリッド開催を選択されたことはとても良い取組だと思う。これを機会に可能であるならハイブリッド開催を通常の講座の選択肢に入ると良いのではないか。</p>	

(続き)	3点目に、「文化財保存活用地域計画ワークショップ」だが、権威のあるハードルの高いものという文化財のイメージを覆す良い企画だと考える。経過を楽しみにしている。
委員	「いきいきカレッジ合同開講式」の講演会中止だが、当日の朝8時に運営委員会で決定した。想像以上に天候が悪化し、対応しきれなかった。前日に講師からオンライン開催という話も出たが、直前で対応が間に合わず中止となった。今後は自然災害を考慮し、第2案が大事だとつくづく感じた。
生涯学習課長	コロナ禍を経てオンライン講座が一般化したため、生涯学習センターの電波環境も強化した経緯がある。ハード面は整っており、天候不順等一般化してきているので、配慮をして進めていきたい。
委員	「図書館講座」については、コロナ禍の経験を重ね、オンラインでも開催したことはとても良いと思う。今回のオンライン参加者が6名とのことなので、今後考えていく必要があると思う。
委員	5月11日「スマホ活用講座」、6月27日「スマホに慣れて、楽しく使おう」、7月4日「スマホに慣れて、上手に使おう！」とある。講座のタイトルが異なるが、内容は違うのか。
生涯学習課長	文化振興課「写真展 オードリー・スタイル」は三島市民無料だったが、入館者の市内外の割合を教えて欲しい。また、チラシに前売券の表記があったと思うが、当日も前売券販売と記載されていなかったか。
文化振興課長	スマホ講座については公民館ごとに表題が異なるが、内容は初心者を対象としており、講師も共通である。題名は、公民館ごと集客を意識して考えているため異なっている。
委員	佐野美術館で行われた「写真展 オードリー・スタイル」の入館者の内訳だが、今年の割合は算出していない。次回の会議の際に報告させていただく。参考までに、昨年の入場者数に対する市内招待券を使用した人の割合は21%となっている。また、前売券は前日までと記載があるので、開催当日は購入することはできない。
委員	7月30日「チャレンジスクール2023」は4年ぶりの開催で、応募数が83人、受講者が48人とのことだが、落選となった方への対応はどうしたのか。
生涯学習課長	誠に遺憾だが、落選の通知を出す中でお詫びをした。落選の方々への別案までは実施できていないというのが実情である。
委員	抽選会を開いたのか。
生涯学習課長	箱根の里事務局で抽選を行った。
委員	5月2日「飛龍高校来館」と記載があるが、利用促進の面でおこなったのか。また、三島市の高校でなかった理由も教えて欲しい。
図書館長	「飛龍高校の来館」は毎年実施している。図書館の利用の仕方、雰囲気を感じてもらうことが第一であると考えている。次回は日本大学三島高等学校に打診しようかと考えている。
委員	豪雨等、天候による災害のことについてはこの会議のみならず、他の委員会でも展開すべきである。庁舎内で展開し意見交換してもらいたい。

<p>委員</p>	<p>文化財課の郷土資料館文化財ボランティア「石造物調査の会」は活動の多くがフィールドワーク中心であり毎月行っているが、猛暑の時の熱中症対策はどうしているのか。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>「石造物調査の会」はフィールドワークが中心で、これまでに市内南部の調査を行い報告書も数冊出している。熱中症については、暑い時期は時間を短縮、場合によっては中止することもある。必ずしも毎月行いう訳ではなく、様子を見て進めている。将来的には三島市全域を巡り、有名無名の石碑等をピックアップし調べていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p> <p>文化財課長</p>	<p>暑い時期8月、9月は室内でまとめを行うでも良いのではないかと。 調査担当者に積極的に声かけするようにし、万が一事故が起こった場合の行動、シミュレーションを指導している。今一度確認し、ボランティアの安全確保、事故のないように努めていきたい。</p>
<p>委員</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>イベント時の参加者の健康管理、リスクマネジメントは周知すべきである。 「チャレンジスクール2023」について、指導員がいれば開催出来るとのことだが、指導員の育成についてはどうなっているのか。来年度の予定を教えてください。 受講者8名が6班に分かれ計48人で行われている。元々は指導者1名に対して6名で考えていたが、指導員が見つからず変更となった。指導員の内訳は、ボーイスカウト・ガールスカウト、教職員、市の職員となっている。教職員は働き方改革もあり、強制的に参集することは難しい。市の職員を集め、今回の実施となった。今後、市の社会教育団体に呼びかけをする、市職員については掲示板を用い、全庁的に広く呼び掛ける等対策を施したいと考えている。</p>
<p>(2) 委員報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月24日(水) 令和5年度第1回箱根の里運営協議会 委員より説明 ・ 5月24日(水) 令和5年度第1回青少年相談室運営懇話会 事務局より説明 ・ 6月13日(火) 令和5年度第1回三島市民生涯学習センター運営委員会 委員より説明 ・ 6月13日(火) 令和5年度静岡県社会教育委員連絡協議会 総会・全体研修会 委員より説明 ・ 6月21日(水) 令和5年度社会教育基礎研修(東部)兼第1回東部社会教育関係者等研修会 委員より説明 ・ 6月26日(月) 田方ブロック会議 事務局より説明 ・ 6月30日(金) 令和5年度公民館運営審議会 委員より説明 ・ 7月13日(木) 令和5年度第1回三島市青少年問題協議会 事務局より説明 	

<p>4 報 告</p>	<p>生涯学習の推進に係る図書館の役割について（図書館より） 図書館長より資料に沿って説明</p>
<p>5 その他</p> <p>委 員</p> <p>生涯学習係長</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	<p>(質問)</p> <p>文化会館の運営委員会の際にも愛染院の話があった。生涯学習センター運営委員会でも話があったようだが、経緯を教えて欲しい。</p> <p>愛染院に近い公共施設ということでセンター運営委員会が選ばれたと担当課より聞いている。文化会館はより近い施設のため、立地的な面で選ばれたのではないか。</p> <p>東街区の再開発に関連のあることではないか。文化会館、図書館ではなく都市計画全体で考えていかなければならない話ではないのか。単発的に考えすぎているので、東街区だけでなく全体像を見ていかなければならないと思う。今更ヒアリングすること自体がおかしいのではと懸念している。</p> <p>都市デザインの青写真が全く見えない中でふられてしまっては何と答えて良いのか分からない。全体の意見を見ることができればまた変わってくるのではないか。</p>
<p>6 閉 会</p>	<p>会議終了</p>